



子どもと大人『共育』のススメ

～子育てを100倍楽しむために～

平成28年度 鳥栖市市民活動支援補助事業

教育に携わる人のつながり。

親子の社会的・世代間をつなぐコミュニティ事業

はじめに

想像してください

テーブルの上に・・・

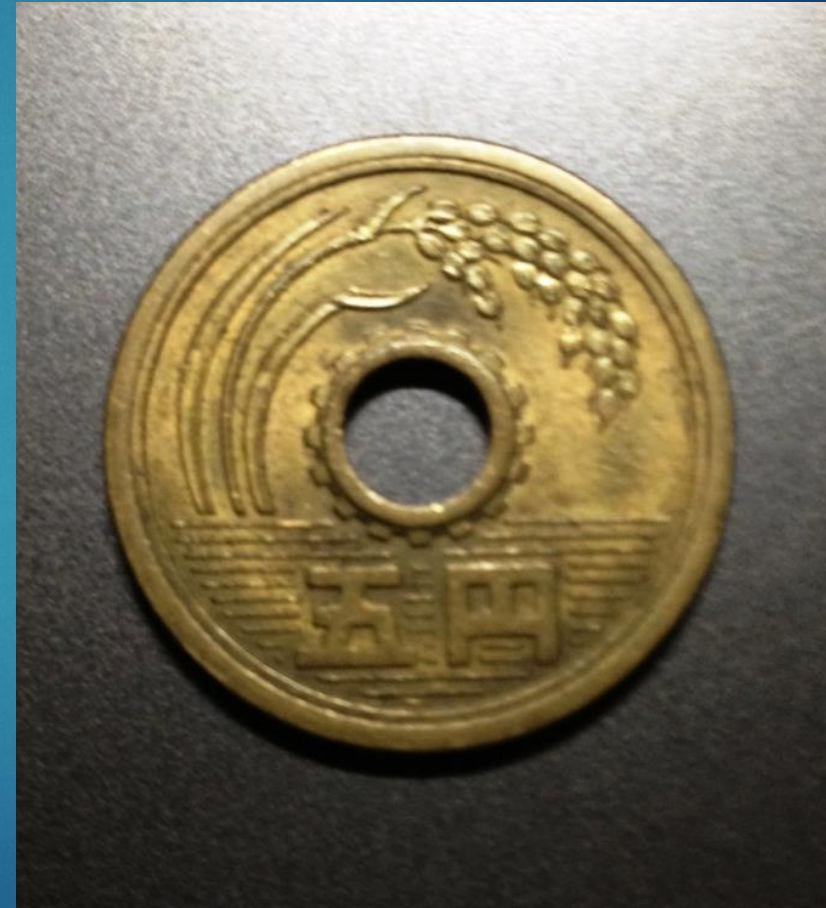
- ▶ どんな形？
- ▶ 何を意味する？



はじめに

子どもたちの視点

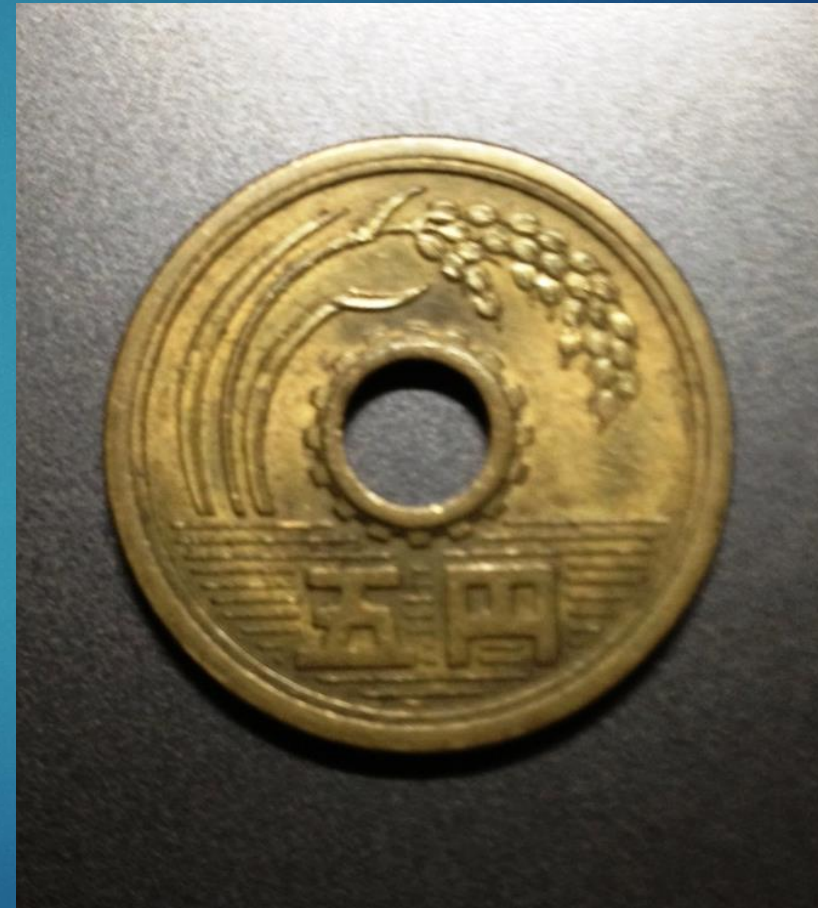
- ▶ 違う角度
- ▶ 違う姿
- ▶ 違う核心



はじめに

大人たちの姿は

- ▶ 自分が中心軸
- ▶ 画一化・法則化
- ▶ 否定する姿



講師 自己紹介

藤井秀一（ふじいひでかず） 東京都墨田区出身

- ▶ 昭和43（1968）年2月4日生
- ▶ キャリア教育・教員研修・教師のキャリア支援
- ▶ 都内私立高校にて21年間の教師歴
- ▶ テレビで教育関連のコメント
- ▶ キャリアカウンセリング
- ▶ コーチング



講師 自己紹介

藤井秀一（ふじいひでかず） 東京都墨田区出身

- ▶ 中高時代の愛読書～『葉隠』 『阿部一族』
- ▶ 文学へのきっかけ～『古事記』の神話
- ▶ 下町生まれの下町育ち
- ▶ 趣味は釣り・映画・博物館
- ▶ 高校3年生の息子が一人
- ▶ 妻は10年前に胃がんで他界

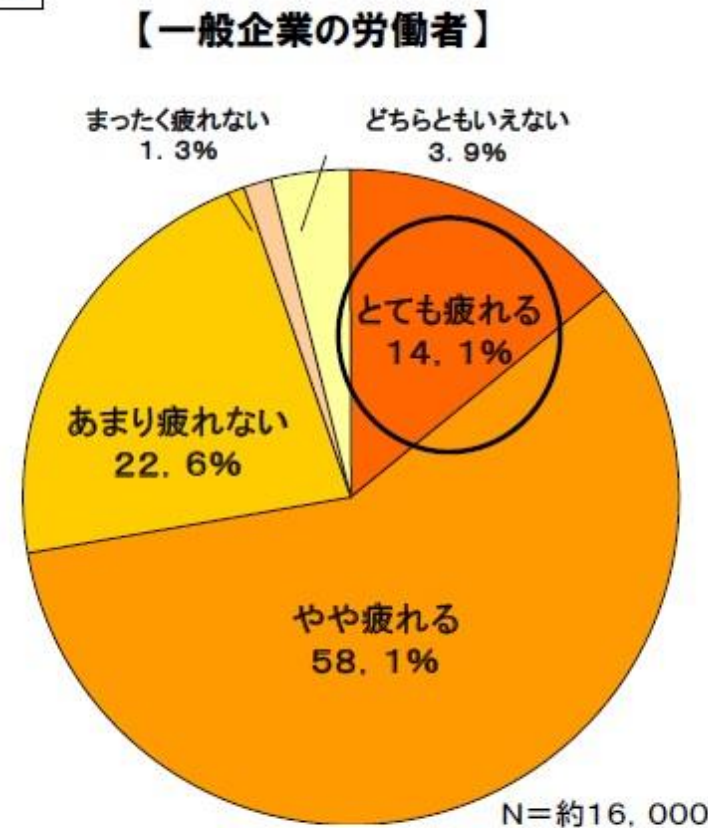
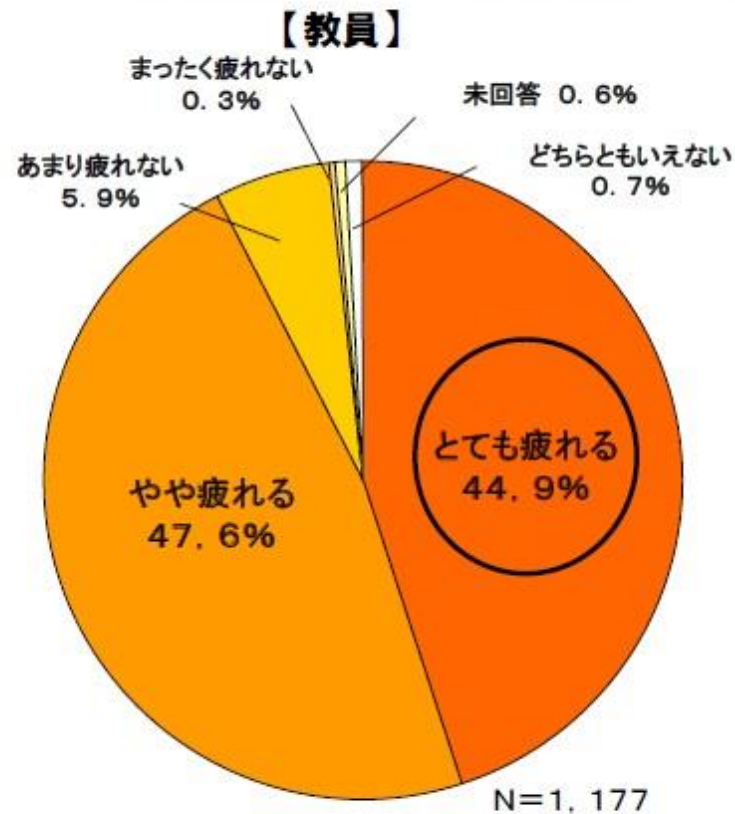


私のお客様（教師）～死にたい・苦しい・つらい

4. 教員の疲労度(一般企業の労働者との比較)①

教員は、一般企業の労働者よりも疲労度は強い。

「普段の仕事での身体の疲労具合」への回答割合



私のお客様（教師）～死にたい・苦しい・つらい

<教員の仕事の時間配分>

- 日本の教員の1週間当たりの勤務時間は参加国最長(日本53.9時間、参加国平均38.3時間)。
- このうち、教員が指導(授業)に使ったと回答した時間は、参加国平均と同程度である一方、課外活動(スポーツ・文化活動)の指導時間が特に長い(日本7.7時間、参加国平均2.1時間)ほか、一般的事務業務(日本5.5時間、参加国平均2.9時間)、学校内外で個人で行う授業の計画や準備に使った時間(日本8.7時間、参加国平均7.1時間)等も長い傾向にある。

表10 教員の仕事時間

	仕事時間の合計	指導(授業)に使った時間	学校内外で個人で行う授業の計画や準備に使った時間	学校内での同僚との共同作業や話し合いに使った時間	生徒の課題の採点や添削に使った時間	生徒に対する教育相談に使った時間
日本	53.9時間	17.7時間	8.7時間	3.9時間	4.6時間	2.7時間
参加国平均	38.3時間	19.3時間	7.1時間	2.9時間	4.9時間	2.2時間

	学校運營業務への参画に使った時間	一般的事務業務に使った時間	保護者との連絡や連携に使った時間	課外活動の指導に使った時間	その他の業務に使った時間
日本	3.0時間	5.5時間	1.3時間	7.7時間	2.9時間
参加国平均	1.6時間	2.9時間	1.6時間	2.1時間	2.0時間

※ 直近の「通常の一週間」において、各項目の仕事に従事した時間の平均。「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くならなかった一週間とする。週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含む。

私のお客様（教師）～死にたい・苦しい・つらい

ままで公立の小中学校から先生がいなくなる! 別冊宝島 2013

教師が危ない

There will be no Teacher in the Future

Interview 尾木直樹 (教育評論家)

「教育界の閉鎖性が教師をダメにする」

「教員の労働面においても日教組の弊害は大きい」 義家弘介 (東京大学准教授)

教師を取り巻く環境は問題だらけ
安心して子どもを預けられますか?

ベテラン教師が大量退職する「2013年問題」
志望者激減! 「でもしか先生」と称される新人教師

商品手配、生活指導、部活動顧問という名のサービス残業
保護者からの「ネット絡付け」に悩める教師

使い捨てされる月収10万円の非正規教師
教壇のなり手がいない! 降格を申し出る管理職教師

変容する日本の教育現場

データで見る教師と

大特集 学校が危ない スーパーチープ!


Weekly Toyo Keizai 週刊東洋経済 <http://toyokeizai.net>

学校が危ない

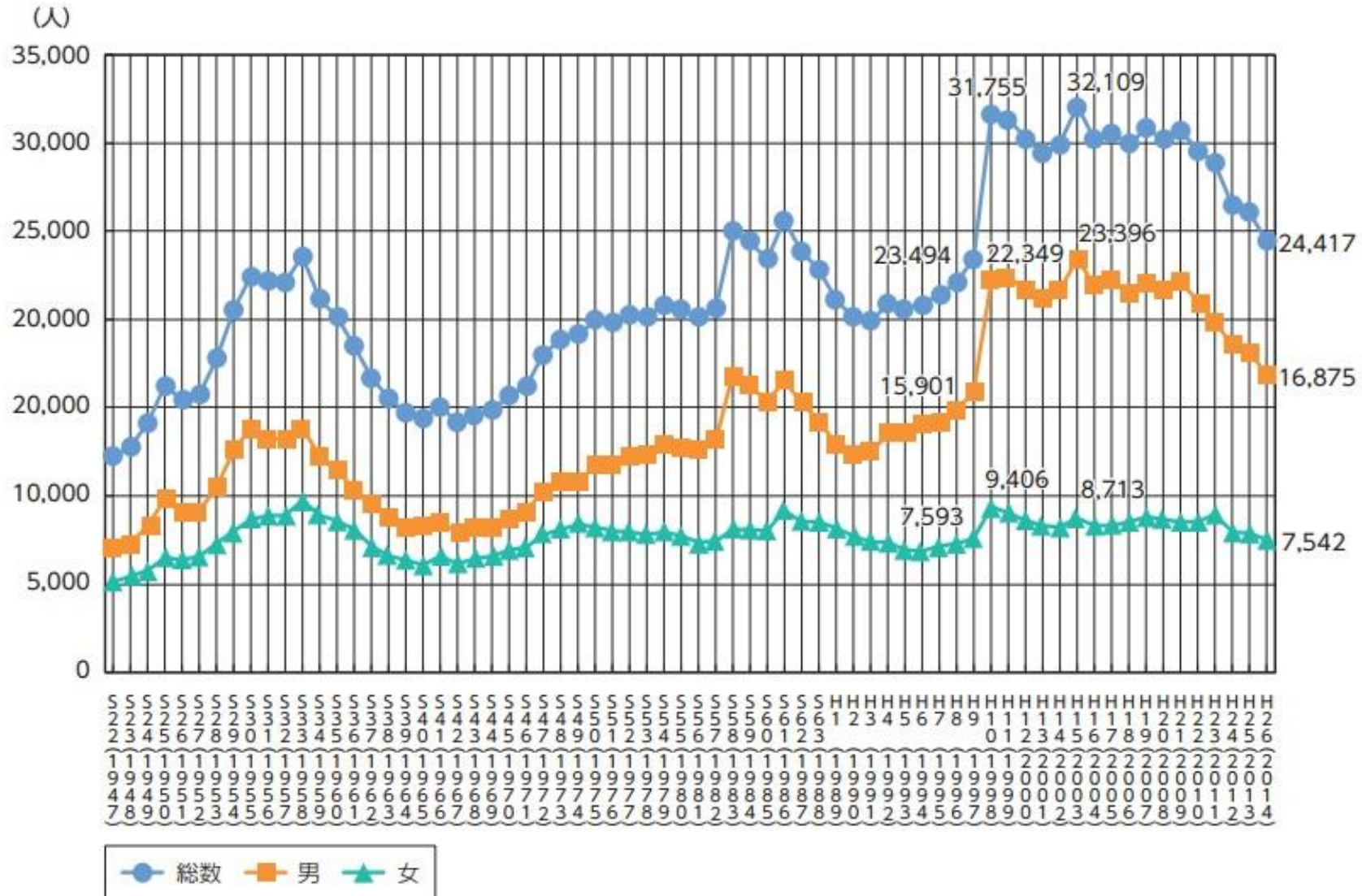
$X+Y=Z$

ブラック化する職場

忙しすぎる先生たち

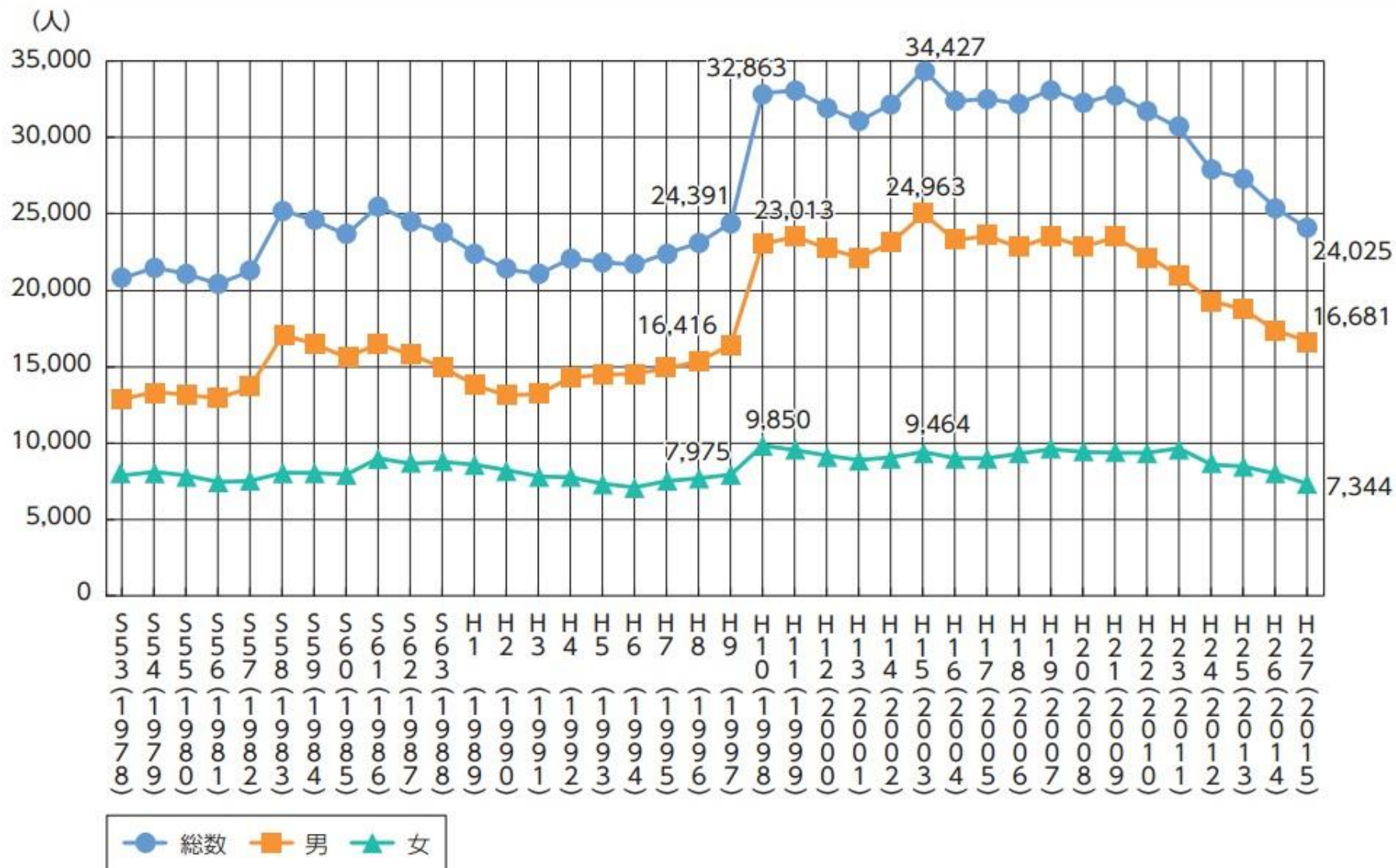


我が国の自殺の現状－自殺者数の長期的推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

我が国の自殺の現状－自殺統計



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

我が国の自殺の現状－自殺者数の長期的推移

参 考

厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い

1 調査対象の差異

厚生労働省の人口動態統計は、日本における日本人を対象とし、警察庁の自殺統計は、総人口（日本における外国人も含む。）を対象としている。

2 調査時点の差異

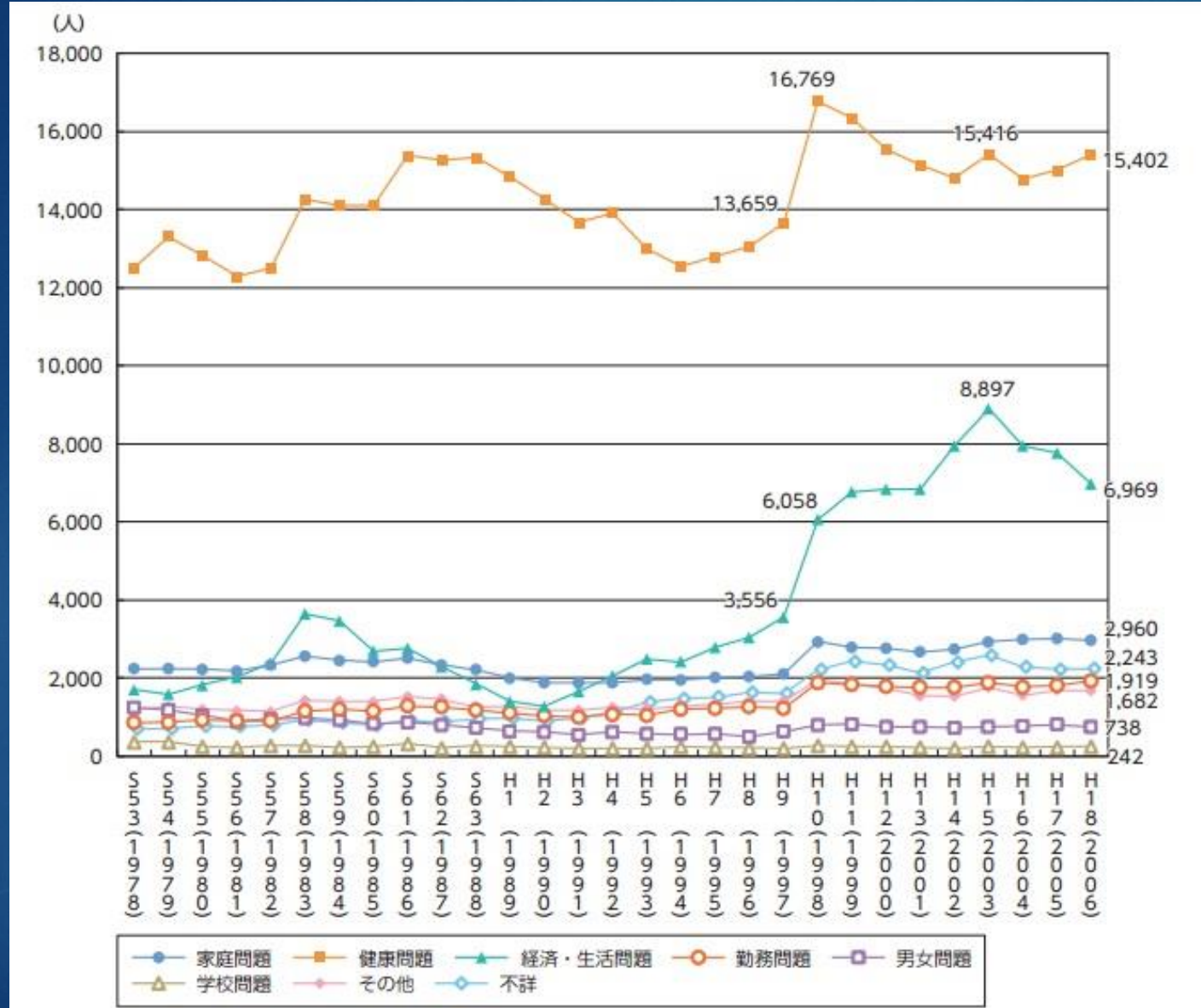
厚生労働省の人口動態統計は、住所地を基に死亡時点で計上し、警察庁の自殺統計は、発見地を基に自殺死体発見時点（正確には認知）で計上している。

3 事務手続き上（訂正報告）の差異

厚生労働省の人口動態統計は、自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは自殺以外で処理しており、死亡診断書等について作成者から自殺の旨訂正報告がない場合は、自殺に計上していない。

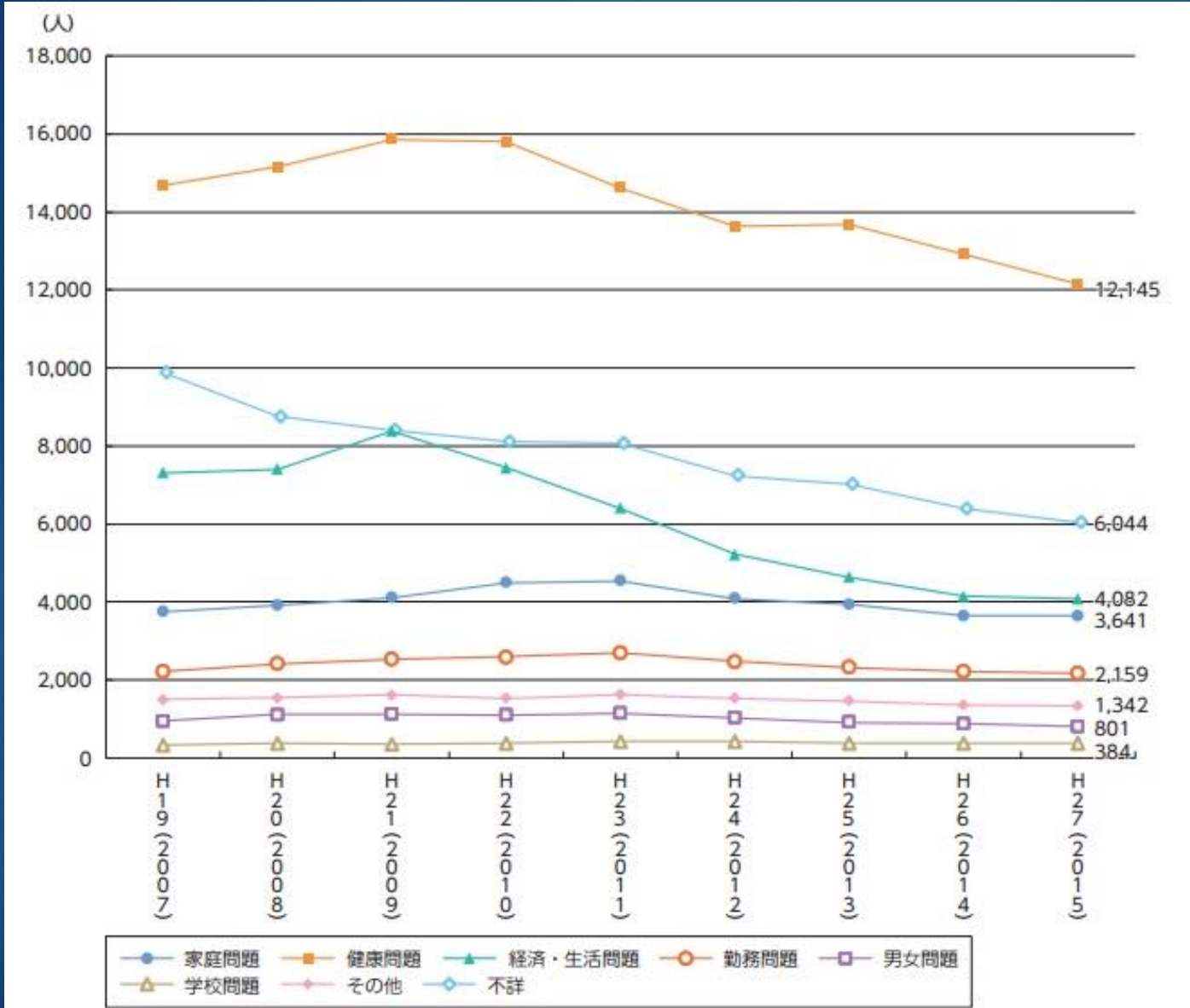
警察庁の自殺統計は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し、計上している。

我が国の自殺の現状－平成18年までの自殺原因



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

我が国の自殺の現状－平成19年以降の自殺原因



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

我が国の自殺の現状－平成26年の死亡原因（全）

第1-9表

平成26年における死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率・構成割合

総数

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	101	1.8	20.2	自殺	100	1.8	20.0	不慮の事故	85	1.5	17.0
15～19歳	自殺	434	7.3	36.0	不慮の事故	312	5.3	25.9	悪性新生物	141	2.4	11.7
20～24歳	自殺	1,178	19.7	50.8	不慮の事故	382	6.4	16.5	悪性新生物	175	2.9	7.5
25～29歳	自殺	1,423	22.0	49.5	不慮の事故	388	6.0	13.5	悪性新生物	325	5.0	11.3
30～34歳	自殺	1,520	20.9	39.0	悪性新生物	698	9.6	17.9	不慮の事故	413	5.7	10.6
35～39歳	自殺	1,762	20.7	30.0	悪性新生物	1,392	16.4	23.7	心疾患	551	6.5	9.4
40～44歳	悪性新生物	2,901	30.1	28.8	自殺	2,042	21.2	20.3	心疾患	1,219	12.6	12.1
45～49歳	悪性新生物	4,683	55.2	34.1	自殺	2,046	24.1	14.9	心疾患	1,719	20.3	12.5
50～54歳	悪性新生物	7,760	100.9	39.1	心疾患	2,562	33.3	12.9	自殺	2,015	26.2	10.2
55～59歳	悪性新生物	13,851	182.7	45.7	心疾患	3,689	48.7	12.2	脳血管疾患	2,249	29.7	7.4
60～64歳	悪性新生物	27,860	312.3	48.6	心疾患	7,133	80.0	12.4	脳血管疾患	3,912	43.9	6.8

我が国の自殺の現状－平成26年の死亡原因（男）

男

年齢階級	第1位					第2位					第3位				
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)			
10～14歳	自殺	67	2.3	21.1	悪性新生物	65	2.2	20.4	不慮の事故	57	2.0	17.9			
15～19歳	自殺	312	10.3	37.1	不慮の事故	242	8.0	28.8	悪性新生物	96	3.2	11.4			
20～24歳	自殺	868	28.2	52.1	不慮の事故	307	10.0	18.4	心疾患	98	3.2	5.9			
25～29歳	自殺	1,042	31.5	53.1	不慮の事故	296	9.0	15.1	悪性新生物	148	4.5	7.5			
30～34歳	自殺	1,088	29.4	42.3	不慮の事故	324	8.7	12.6	悪性新生物	306	8.3	11.9			
35～39歳	自殺	1,241	28.7	33.4	悪性新生物	565	13.1	15.2	心疾患	424	9.8	11.4			
40～44歳	自殺	1,507	30.8	23.4	悪性新生物	1,210	24.7	18.8	心疾患	967	19.7	15.0			
45～49歳	悪性新生物	2,133	49.8	24.4	自殺	1,465	34.2	16.7	心疾患	1,357	31.7	15.5			
50～54歳	悪性新生物	3,948	102.3	30.5	心疾患	2,063	53.4	15.9	自殺	1,496	38.8	11.5			
55～59歳	悪性新生物	7,962	211.2	39.3	心疾患	2,921	77.5	14.4	脳血管疾患	1,599	42.4	7.9			
60～64歳	悪性新生物	17,837	407.3	45.1	心疾患	5,592	127.7	14.1	脳血管疾患	2,743	62.6	6.9			

我が国の自殺の現状－平成26年の死亡原因（女）

女

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	36	1.3	19.7	自殺	33	1.2	18.0	不慮の事故	28	1.0	15.3
15～19歳	自殺	122	4.2	33.4	不慮の事故	70	2.4	19.2	悪性新生物	45	1.6	12.3
20～24歳	自殺	310	10.6	47.3	悪性新生物	79	2.7	12.1	不慮の事故	75	2.6	11.5
25～29歳	自殺	381	12.1	41.8	悪性新生物	177	5.6	19.4	不慮の事故	92	2.9	10.1
30～34歳	自殺	432	12.1	32.7	悪性新生物	392	11.0	29.7	不慮の事故	89	2.5	6.7
35～39歳	悪性新生物	827	19.8	38.2	自殺	521	12.4	24.1	心疾患	127	3.0	5.9
40～44歳	悪性新生物	1,691	35.6	46.8	自殺	535	11.3	14.8	心疾患	252	5.3	7.0
45～49歳	悪性新生物	2,550	60.7	51.2	自殺	581	13.8	11.7	心疾患	362	8.6	7.3
50～54歳	悪性新生物	3,812	99.6	55.4	脳血管疾患	567	14.8	8.2	自殺	519	13.6	7.5
55～59歳	悪性新生物	5,889	154.6	58.7	心疾患	768	20.2	7.7	脳血管疾患	650	17.1	6.5
60～64歳	悪性新生物	10,023	220.7	56.5	心疾患	1,541	33.9	8.7	脳血管疾患	1,169	25.7	6.6

注) 構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡数を100とした場合の割合である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

日本・・・今、何が問題なのか

なぜこんなことになったのか？

- ▶ モンスター・クレーマー
- ▶ キレル少女少女
- ▶ 暴れる大人
- ▶ 結婚したくない若者
- ▶ 認められたい症候群
- ▶ デモンストレーション殺人
- ▶ ファンタジーな未来像



日本・・・今、何が問題なのか

価値観の軸の変化

<むかし>

- ▶ 社会とのかかわり
- ▶ 他者とのつながり

<いま>

- ▶ 排他的な個人の自由
- ▶ 排他的な個人の都合



日本・・・今、何が問題なのか

ところが・・・

〈繰り返された絶対的危機〉

世界の驚愕

- ▶ 阪神大震災
- ▶ 失われた20年
- ▶ 東日本大震災
- ▶ 熊本大震災



日本・・・今、何が問題なのか

日本人の遺伝的特性

<自我のあり方>

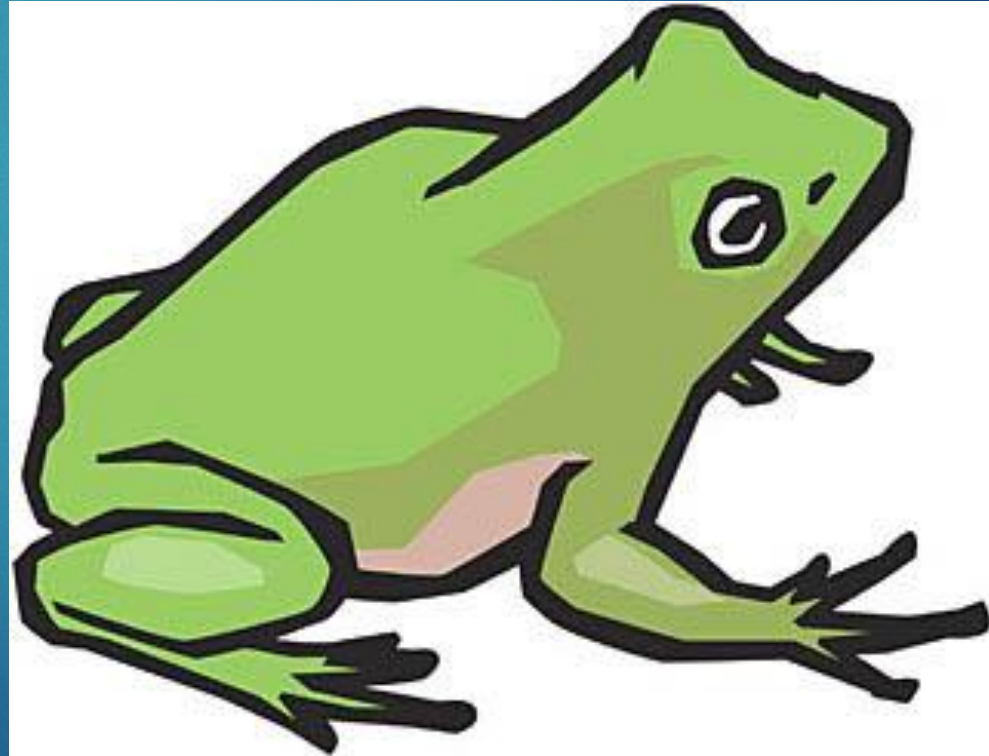


日本・・・今、何が問題なのか

自然界に学ぶ

<利他の生き方>

- ▶ アポトーシス？
- ▶ がん細胞？
- ▶ からだのしくみ



日本・・・今、何が問題なのか

人、そして自然

<利他と利己>

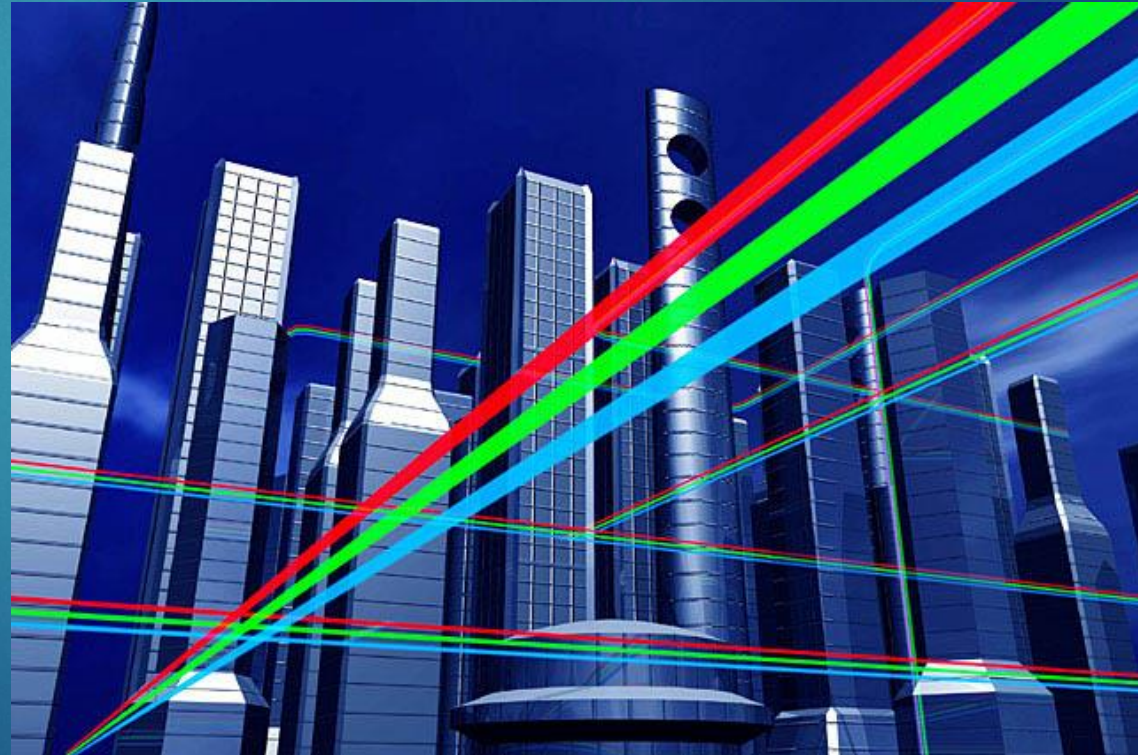


日本の教育・・・求められる変化

キャリアのゆくえ

＜産・官・学の連携＞

- ▶ 連携 ＜ 情報交換
- ▶ 情熱の交流 ＜ しぐみ
- ▶ 相互理解の不足

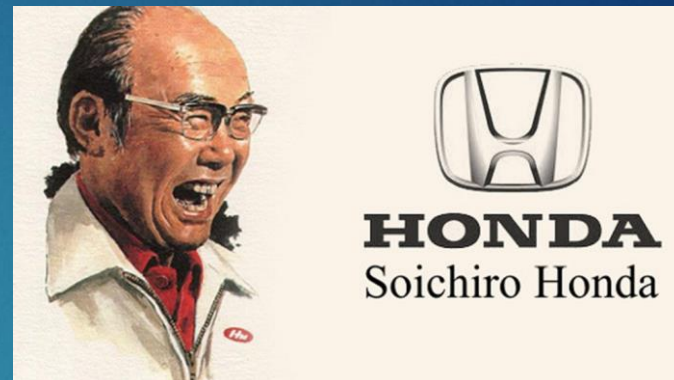


日本の教育・・・求められる変化

キャリアのゆくえ

<支えた力・支える力>

- ▶ 復興の真のパワー
- ▶ 『実学』 = 利他の体現
- ▶アントレプレナーシップ



日本の教育・・・求められる変化

キャリアのゆくえ

<子どもたちは未来を救う>

- ▶ 発想をつぶさない
- ▶ 自己抑圧させない
- ▶ 視界を広げさせよ



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

- ▶ 2006年夏、妻が突然倒れて・・・



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

- ▶ 広島への真夜中の急行



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

▶ 朝7時の病院でのショック



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

▶ これからどうすれば・・・



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

▶ 最後の会話と妻の死



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

- ▶ 父ひとり、子ひとりの関係
- ▶ 10回さかのぼれば・・・
1,024人
- ▶ 100回さかのぼれば・・・
1,267,650,600,228,229,
401,496,703,205,376人



「生命とは何か」～本気で考えたきっかけ

家族に起きた不幸

▶ 見つかりかけている答え



生きるということ～自分らしさ

「自分とは何か」

▶ 人とは違うこと自体が価値



生きるということ～自分らしさ

「自分とは何か」

▶ 私の友人たちの生き方



生きるということ～自分らしさ

「自分とは何か」

- ▶ 自分を認めることは他者をも認めること



生きるということ～自分らしさ

誰もが誰かのヒーロー

- ▶ 1. 真剣に耳を傾けてみよう



生きるということ～自分らしさ

誰もが誰かのヒーロー

- ▶ 2. 力まずに受け止めてあげよう



生きるということ～自分らしさ

誰もが誰かのヒーロー

▶ 3. ゆっくり問いかけてあげよう



生きるということ～自分らしさ

大人も頑張っています

- ▶ でも、ちょっと難しいこともある・・・



生きるということ～自分らしさ

大人も頑張っています

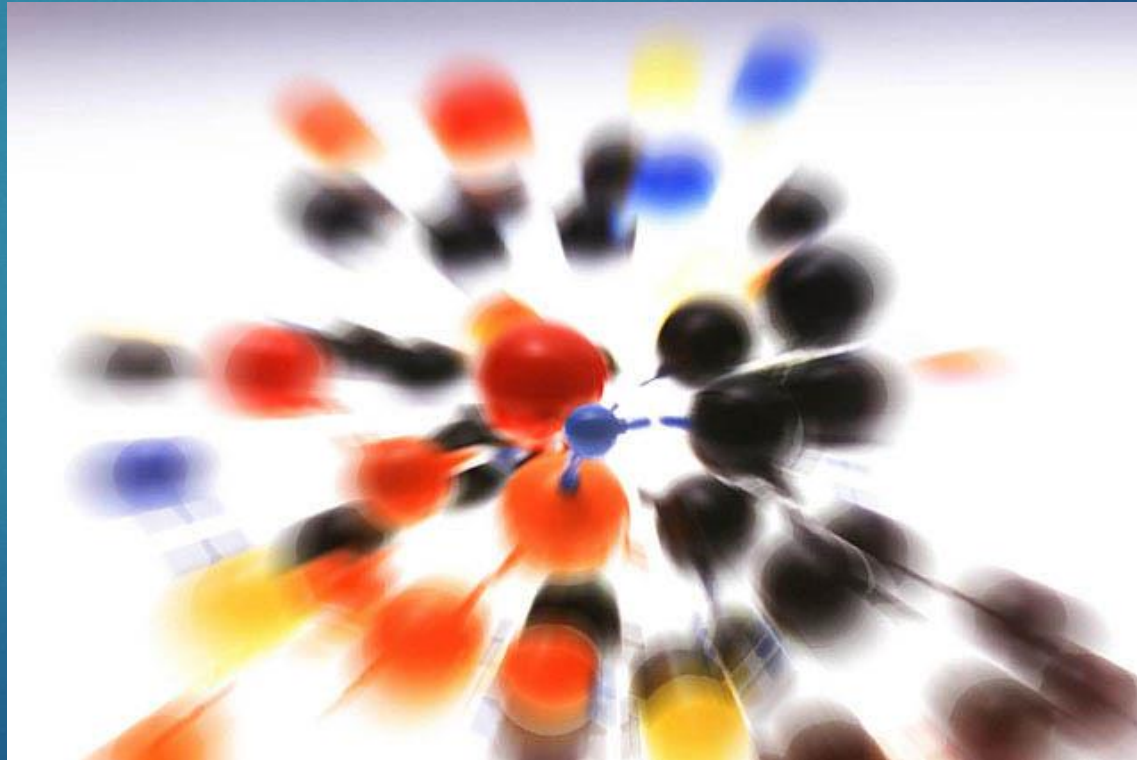
▶ 「次の日本」は子どもたちのもの



生きるということ～自分らしさ

子どもたちたちの取り組みは未来を変える

▶ 生命はつながりながら再生を繰り返すから・・・



『共育』とは何か

教師体験と親業から見たもの

▶ 「叱る」と「怒る」



『共育』とは何か

教師体験と親業から見たもの

- ▶ 『承認』は許すことではない



『共育』とは何か

教師体験と親業から見たもの

- ▶ 『否定』が子どもの心を押しつぶす



『共育』とは何か

教師体験と親業から見たもの

- ▶ 『教えること』は『教えないこと』



『共育』とは何か

あなたに許されている権利

- ▶ 否定する⇒
- ▶ 拒絶する⇒
- ▶ 無視する⇒
- ▶ 追及する⇒
- ▶ 溺愛する⇒
- ▶ あきらめる⇒
- ▶ 見捨てる⇒





ご清聴ありがとうございました
生きることは「つなぐ」こと